

令和8年度 八王子市立高嶺小学校 学校経営計画

八王子市立高嶺小学校
校長 西村 実

はじめに

今年度、高嶺小学校は創立49年を迎える。昭和53年（1978年）2月に八王子市では45番目の小学校として開校した。落ち着いた地域環境の中で、保護者・地域の温かい目に包まれ、児童がすくすくと育っている。また、様々な地域での活動により、地域でも子供が健やかに成長している。そして、保護者・地域住民の子供に対する熱い思いの中で学校の教育活動が展開されている。今後も児童のために、積極的に家庭や地域社会と連携・協力していくことが大切であると考えている。

地域に生きる、そして地域に愛着をもった児童の育成を図るべく、地域運営学校として、学校運営協議会が中心となり、地域の人材や環境を生かして、学習支援、環境支援、防災教育といった様々な面で活動を進めていきたい。

保護者・地域・教職員が『共育（同じ考えで同じ方向を向いて子供たちを育てていくこと）』を大切にして、教育活動を行っていきます。

教育目標（目指す児童像）◎は重点目標

- | |
|--|
| (た) 助け合う、思いやりのある子
(か) ◎考えを深め、自分から学ぶ子
(ね) ねばり強く、最後までやりぬく子 |
|--|

1 目指す学校像

(1)【目指す学校像】

「3感のある学校」、「共育」、「文武両道」を常に念頭に置いた学校

- 1 子供が所属感・存在感・充実感を味わい、笑顔があふれ、安心感をもって過ごせる学校
- 2 学校・保護者・地域社会が三位一体となり、子供と一緒に育てる質の高い教育活動が展開される学校
- 3 子供と教職員が共に学習や運動をすることで心身ともに健康な学校

(2)【目指す教職員像】 「常に子供ありき」

- 1 子供に愛情を注ぎ、厳しさと温かさをもった指導ができ、明るく心身ともに健康な教職員
- 2 自己の資質・能力を高めるために、研修と修養に励み、組織の一員として機能できる教職員
- 3 互いの能力を高める指導・育成ができる教職員

学校経営目標

基本理念

- ・ 地域運営学校として、地域から愛される学校づくりを推進していくために、学校・保護者・地域社会が三位一体となった教育活動を展開し、子供に『生きる力』を育成する。
- ・ 義務教育9年間の視野に入れて、知・徳・体の基礎的基本的な指導を行い、子供に品格と教養を育み、地元を誇りを持ち、地域社会に貢献できる人間としての基礎を培う。

2 中期的目標と方策

学校においては、子供が何を考え、何を求めているのか、「常に子供ありき」で教育活動を構築し、実践していきたいと考えている。新しい生活様式は、今後も児童に十分理解させ、自ら行動できる

ようにする必要性を感じている。

児童が安心して学校に通えるには、**所属感**・**存在感**・**充実感**のある学校生活の必要性が考えられる。この3つの要素が達成された時、児童に**安心感**が生まれる。日常的に挨拶が自然とできる児童、自分の存在を明らかにできる児童、自分のことだけでなく、周りの人間のことを感じるができる児童の育成ができてこそ、児童は安心して学校生活を送ることができると思う。そのために、**挨拶**の励行、**返事**の徹底、**後片付け**ができる児童の育成を日常の教育活動の中で育成していく。

＜3感のある学校＞

学校・保護者・地域がともに、同じベクトルを向いて、教育活動にかかわることで、児童の成長が2倍にも3倍にもなると考える。そこで、学校の教育方針を保護者・地域に常に発信していくことで、同一歩調で児童にかかわっていくようにしたい。＜共有（ともいく）＞

児童の心身の調和のとれた発育・発達を図り、健やかな体をつくることは、人間を育成する上での基盤となる。また、安定した心身の中で学力はより向上されると考える。そこで、体力分析を行い、本校児童に不足している能力について分析したり方策を立てたりして、体育活動以外の体力向上にも取り組んでいきたいと考える。＜文武両道＞

3 今年度の取り組み目標と方策

（1）《心身ともに健やかさを育むために（豊かな心の醸成）》

- 自分を大切にし、他者を思いやる心の育成
 - ・挨拶の習慣の定着
毎朝、校門や昇降口で教員と挨拶を行うことで、挨拶の習慣を図る。また、地域に積極的に働きかけ、自然と挨拶ができるように声掛けをしてもらう。（朝会時、毎日の朝の校門）様々な活動の中で、挨拶運動を設ける。（代表員会、小中連携）
 - ・異学年交流の推進
たてわり班活動を充実させ、上学年児童に模範を示す態度を、下学年児童には規範意識をそれぞれ身に付けさせる。（年間9回）
 - ・「特別の教科 道徳」の授業では、道徳教育全体計画に沿って、「相互理解・寛容」を学校の重点とし、自他の命を尊重しようとする心情を育むとともに、誰に対しても公平に接し、個性や特性を認め合い、差別や偏見のない学校の実現に向けて、道徳的な判断力、実践意欲、態度を育てる。（各学級年間35回）
 - ・道徳授業地区公開講座の実施
 - ・人権教育を年間計画に沿って実施し、自他を思いやる心優しい児童を育てる。
 - ・「学校いじめ防止基本方針」に則ったいじめ防止に向けた取組
毎週1回のいじめ対策委員会の実施
「八王子市いのちの大切さを共に考える日」の取組（6月1日）
「ふれあい月間」の取組
 - ・不登校児童への支援
家庭の支援ニーズの把握、共有（通年）
別室指導の教室（ほっとルーム）を開設。指導員を配置し、安心して過ごすことができる居場所づくりをする。
- 自主、自立の精神に満ちた児童の育成
 - ・体験活動を重視し、キャリア教育を実施する。（学年に応じた職業体験）
 - ・特別活動の充実
学級活動、児童会活動、学校行事などを通し、人に役立つ喜びを味わわせる。
- 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進
 - ・教育相談の充実・登校支援に向けて、SCやSSW、地域との連携
 - ・特別支援体制（校内委員会）の充実、環境、指導のUD化を進め、インクルーシブの実現を目指す。（通年）
- 危機回避能力を高める指導の充実（学校運営協議会とともに）
 - ・防災・減災教育の推進（防災訓練、避難訓練等の工夫・改善）
 - ・安全教育の推進（交通安全・不審者対応等）

- ・登下校時の交通安全（安全ボランティアによる見守り 通年）
交通安全教室（1年）、自転車安全教室（3年、5年）

（2）《教員の授業力と子供の学力の向上を図るために》

- 校内OJTで教員同士の授業公開と参観を積極的に行う。（年2回授業公開をする。）
- 日々の授業や年3回の研究授業で、非認知能力を高める探究学習により主体的で深い学びを実現する。協働性、主体性、ねばり強さを意識しつつ探究学習を通して資質・能力をより効果的に伸長させる。
- 授業の質の向上や多面的な児童理解を目指して、同じ学年の担任の中で、教科を割り振り、教科担任制を行う。（5、6年生）
- 基礎学力の向上
 - ・はちおうじっ子ミニマムの活用して社会生活に必要な基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。（2回目の正答数を3問増やす）
 - ・ドリル型学習コンテンツの活用する。
 - ・朝学習で「算チャレ」を行う。ミライシードやベーシックドリルの活用。
 - ・放課後補習教室（くすの木教室）の充実（年29回）
 - ・教育ボランティアの積極的な導入
 - ・大型テレビモニターなどICT機器を活用した授業展開を行う。（各クラス年間100回）
 - ・ICTを活用した授業の展開（タブレット型PCの活用）
- 感性や創造性を育む活動の充実
 - ・「読書のまち八王子」の推進
学校司書（毎週金曜日勤務）やボランティアを活用して読書活動の充実を図る。
学校司書による読書啓発活動（毎週金曜日）
保護者ボランティアによる各学級への読み聞かせ活動
Chromebookを活用して電子図書の利用
 - ・地域に学ぶ機会の拡充（郷土学習）
（1年 学校探検）、（2年 町探検）、（3年 高嶺図鑑、蚕）
（4年 地域の祭や伝統文化）、（5年 地域安全マップ）
（6年 八王子の歴史、戦争体験の話聞く会、八王子千人同心と宿泊学習との関連）

（3）《心身ともの健やかさを育むために（体力向上、食育）》

- 体力向上の取組
 - ・体力調査を実施・分析し、必要な領域を日々の授業で重点指導する。
 - ・スポーツ関係者を招聘し、運動に対する意欲を高める。（年2回以上）
縄跳び活動 全学年 バasketボール 5、6年生
 - ・全学級で栄養や食品に対する理解を深める授業を実践し、食育を推進する。
- 食育の推進
 - ・食の楽しさを味わわせるために、栄養士による様々な食育指導を行う。
 - 1、2、3年生 給食食材を使った食育
 - 4年生
 - 5、6年生 家庭科の調理実習への栄養士の参加
（おはし大作戦、もったいない大作戦）
 - ・事前に栄養士による食育指導を受け、児童が昼の放送で広報活動を行う。（年195回）
- 学校保健委員会で健康に関する活動を行う。（年1回）

（4）《保護者・地域と共に歩むために》

- 保護者とのコミュニケーション
 - ・情報発信（home&Schoolの活用）（随時）
 - ・教育相談（スクールカウンセラー）の積極的な活用（毎週金曜日）
 - ・学校評価の充実（年2回）

- ・授業アンケート、自己評価、行事ごとの保護者アンケート（随時）
- ・家庭・地域の教育力の活用 教育ボランティアの整備（保護者・地域・学生等）
- 学校運営協議会の充実
 - ・放課後の居場所づくり・・・放課後子ども教室「輪っはっは」の充実 週5日間実施
 - 朝の校庭見守り活動の検討
 - ・学習支援・・・年2回の漢字能力検定の実施 放課後補習「くすの木教室」の拡充・実施
 - ・学校環境改善への協力・参加依頼 花壇整備 池の管理 ・地域活動・行事への積極的な参加
- 保幼小連携の推進（スムーズな接続）
 - ・近隣の幼稚園とお互いの授業・保育を参観し、教職員の交流と情報の共有を図る。（8月）
 - ・次年度入学予定の園児を招いて交流活動を行う。（2学期）
- 小中一貫教育の推進
 - ・中山中・中山小との交流
 - 「小中一貫教育の日」を中心に授業参観や研修会、情報交換会の実施
 - 八王子っ子サミットの推進 学力定着プロジェクトチームでの課題分析、手立て検討
 - 地域活動への参加
- 働き方改革の推進
 - ・校務DXの積極的な推進